

「協働」で高鍋町の未来を創る！

～「高鍋町協働推進ビジョン」の概要～

高鍋町では、町民の皆様と行政とが手を取り合いながら、元気で活力のあるまちを維持していく「協働によるまちづくり」を今まで以上に力強く推進していくための指針として、このたび「高鍋町協働推進ビジョン」を策定しましたので、その概要についてお知らせします。

これからのまちづくりは、行政のみならず、町民（団体）の皆様の大きな力が必要とされています。ぜひ、この概要に目を通していただき、まちづくりへの積極的な参画をいただきますようお願いいたします。

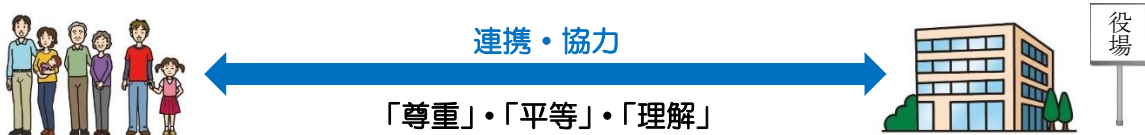
1 「協働」とは

(1) 協働の定義

「協働」とは、『地域住民や団体の皆さん（以下「地域住民等」といいます。）と行政とが共通の目的の達成に向かって、連携・協力しながら、それぞれの持つ力を発揮すること』をいいます。

(2) 協働推進のための3原則

協働推進のためには、地域住民等と行政との間で「お互いを尊重すること」、「お互いが平等であること」、「お互いの意見、主張などを理解すること」の3原則を守り、良好なパートナーシップ（関係）を築いていくことが必要です。



2 広聴機会の充実

高鍋町では、協働の推進に当たり、地域住民等と行政との良好なパートナーシップ（関係）を築きながら、お互いの意見や考えに対する共通認識を持つために、広聴機会（行政が広く地域住民等から意見等を聴く機会や対話の機会）を今まで以上に設け、その充実を図っていきます。

また、高鍋町における広聴のあるべき姿として、単なる要望だけにとどまらず、「将来にわたり、元気で活力ある高鍋町を築くために何をすべきか」など、将来を見据えた前向きな意見等が引き出せる活動に力を入れていきます。



◆「広聴」に関し地域住民等に求めるもの◆

- ①情報収集：行政が発信するまちづくりやまちの将来像に関する情報の収集に努める。
- ②現状把握：高鍋町のよいところや課題などまちの現状について考える。
- ③まちづくりへの考察：高鍋町の地域住民等として、これから高鍋町がどうあるべきかを考える。
- ④意見等の発信：①～③を踏まえ、広聴機会の中でその声（意見）を行政に届ける。



3 高鍋町における協働の重要性

(1) 地域住民等と行政との連携によるまちづくりの推進

地域住民等が把握している高鍋町の特長（よいところ、悪いところ）について、その声を行政に届けてもらい、それと行政が持つまちづくりへの専門性、予算、手法などが結びつくことにより、真に効果の高い、高鍋町らしさを持ったまちづくりを進めることができます。

〔それぞれの役割〕

- 地域住民等：把握している高鍋町の特長を行政に届ける。
- 行政：地域住民等から届いた声（意見等）を検証し、施策に反映させる。

「協働」で結びつく



(2) 人口減少社会、少子高齢化社会克服への挑戦

今後、さらに加速的に進む人口減少や少子高齢化により発生する課題を克服していくためには、もはや行政の力だけでは困難であり、地域住民等の大きな力が何より不可欠です。

そのために、お互いが共通の課題を認識しながら、それぞれが何をすべきか、何ができるのかを協働の視点から考え、行動するなど「高鍋総力戦」による取組が大変重要となります。

〔それぞれの役割〕

- 地域住民等、行政（共通）：まちの課題に対する共通認識を持ちながら、自分たちに何ができるのかを協働の視点に立って考え、行動する。

高鍋総力戦！



(3) 「自分たちのまちは自分たちで形づくる」意識の定着化

これまでに述べた取組からさらに一步踏み込み、協働を推進する中で、地域住民等と行政とが「自分たちのまちのことは、自分たちで考え、決定し、行動し、形づくる」という意識を常に持ち続け、その意識をまち全体に定着化させていくこと、そして、それが高鍋町の強みとなっていくことが、これからの高鍋町におけるまちづくりにとって、とても大切です。

〔それぞれの役割〕

- 地域住民等、行政（共通）：協働の推進を図りながら「自分たちのまちは自分たちで形づくる」という意識を持ち続け、その輪をまち全体に広め、共有していく。

「協働」で支え合う



「協働」で支え合っていこう！